

古街道通信

発行 者：古街道PJ事務局
発行 日：令和4年9月吉日
発行責任者：朝倉 俊昭



南居ルート！完成間近か？

8月21日（日）。9名が参加して、南居ルートの整備を行いました。あと少しで整備が完了します。



チェーンソーを使うので、慎重が必要です。手元に注意して手際よく切断しないと…。

アブに刺されても、杭が重くても、結果に悔いは残りません！



昨日の雨で土がぬかるんでいて滑りやすいから気を付けて…！



前回から杭穴開けマシーンを使っていますが、やはり、無いよりはましですか？



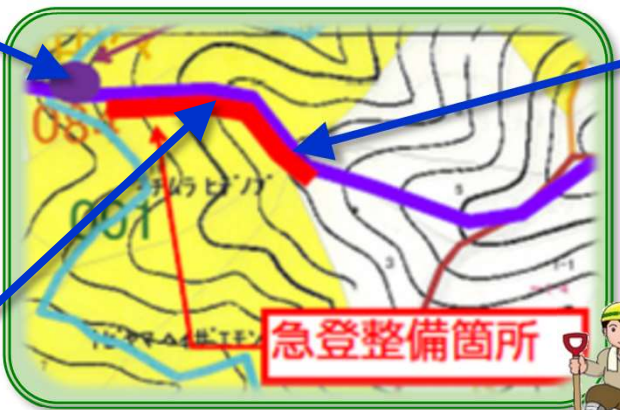
一段一段、足元に注意し、杭を打込み、土を均し、気合を入れて作っています。



歩いてみて、作業結果の確認をします。危ないところはないのですべて合格です。



今日の作業の結果です。素晴らしい階段です。皆さん、どうぞ安心して通ってください。



100段以上の階段を、横木を抱えてどれだけ往復したことか？お疲れ様です。



まだまだ上まで運ばないと…！気が遠くなるような作業だが、頑張るぞ！



あ～疲れた！少し一服しないと身体が持たない。しかし、本当に今日は蒸し暑い！



至民中学校の同級生コンビです。何十年ぶりに心を一つにして頑張りました。



社清明南

初回は、古街道復元プロジェクト会のシンボルマーク作成までの経緯について、エピソードを交えてその由来をお話してもらいました。

本会の設立は今から5年前の2017年。清明地区及び社南地区に跨る城山を整備するとともに、江戸時代に通っていたと考えられる街道「杉谷越坂古道（すぎたにこえさかこどう）」の石碑が立っている場所から西に向かった所で、合谷町の地権者の方が仰った「あそこの杉の木と杉の木の間に昔の道やったんや」という言葉がきっかけとなったことで、古街道の復元を通して両地区の親睦を深め、地域に貢献できる活動を行うことを目的として発足しました。

夫婦岩




古街道を整備して行く中で、一定の間隔に聳え立つ杉木立の道があったことで、古街道の存在を確信しましたが、整備作業の安全を確保する観点から、やむなく現行ルートを選択して南江守の麓までの整備作業を行いました。その時に現れたのが、二つの岩から木が生い茂り、お互いを支え合いながら、時の流れの中での人間（ひと）の生き様を見つめて見守ってきたであろう逞しい姿の「夫婦岩」でした。まさにこの姿は我が会の発足の目的に相応しいことと、「同じ魂のグループソウルメイト」な岩という願いから、この「夫婦岩」を我が会のシンボルマークとしました。（田嶋 則次）

1 2 これからの活動予定

これからの古街道整備計画、役員会等の活動及び開催予定についてお知らせします。

整備計画	役員会等
■ 10月9日（日） （看板の設置及び整備）	■ 9月13日（火）19:00 役員会 清明公民館
■ 11月3日（木） （看板の設置及び整備）	（案内板等の記載内容検討）



編集後記

日中はまだ暑い日もありますが、朝晩はめっきり涼しくなってきました。体調管理には十分お気をつけください。
さて、今月号から掲載を始めた「社清明南」の表題は、清明と社南の文字を組合わせた、単なる語呂合わせですが、「清き（清）屋代（社）に、皆見（南）る明日（明）が…」と読んでいただければ幸いです。（thousand fall）